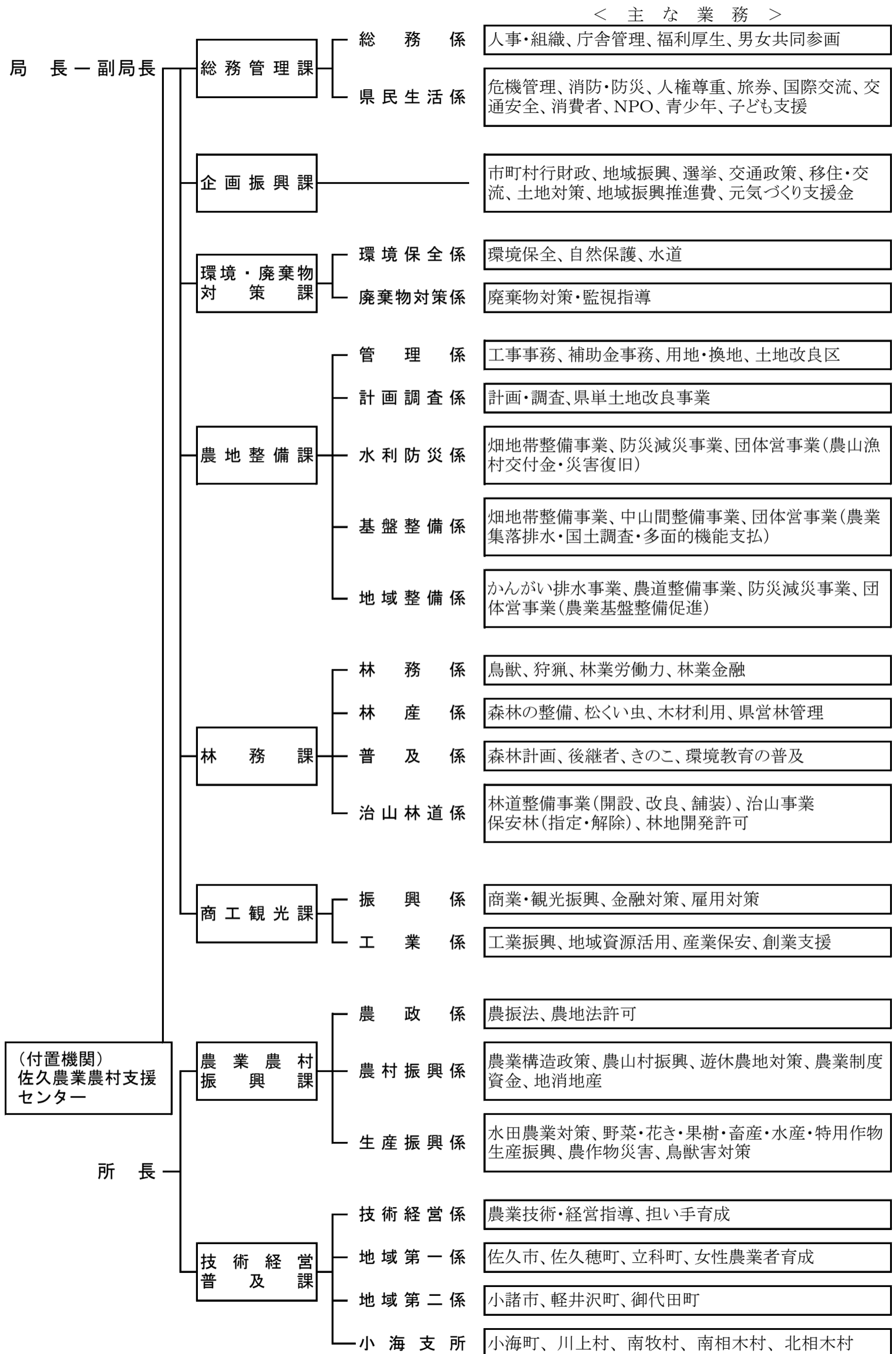


1 佐久地域振興局組織機構一覽

(令和6年5月1日現在)



2 管内現地機関（国・県）一覧

（令和6年4月1日現在）

国	県
法務省 長野地方法務局佐久支局 長野地方検察庁佐久支部・佐久区検察庁	企画振興部 佐久地域振興局 〃 佐久農業農村支援センター
財務省 佐久税務署	総務部 東信県税事務所
文部科学省 （研）宇宙航空研究開発機構白田宇宙空間観測所 東京大学地震研究所小諸地震火山観測所 〃 浅間火山観測所 〃 八ヶ岳地球電磁気観測所 （大）国立天文台野辺山宇宙電波観測所	県民文化部 佐久児童相談所
	健康福祉部 佐久保健福祉事務所 動物愛護センター（ハローアニマル）
厚生労働省 小諸労働基準監督署 佐久公共職業安定所（ハローワーク佐久） 〃 小諸出張所（ハローワーク小諸）	産業労働部 佐久技術専門校
	観光スポーツ部 県立武道館
農林水産省 東信森林管理署 〃 佐久平森林事務所 〃 軽井沢森林事務所 （独）家畜改良センター茨城牧場長野支場 （研）森林研究・整備機構森林総合研究所 林木育種センター長野増殖保存園 （研）農業・食品産業技術総合研究機構 御代田山地放牧研究拠点	農政部 農業大学校（小諸） 野菜花き試験場佐久支場 水産試験場佐久支場 佐久家畜保健衛生所
	建設部 佐久建設事務所 〃 佐久北部事務所
	会計局 東信会計センター
国土交通省 長野国道事務所中部横断自動車道出張所 気象庁浅間山火山防災連絡事務所 利根川水系砂防事務所浅間山出張所	教育委員会 東信教育事務所 望月少年自然の家
裁判所 長野地方裁判所佐久支部 長野家庭裁判所佐久支部 佐久簡易裁判所	公安委員会 小諸警察署 佐久警察署 軽井沢警察署

*（大）は大学共同利用機関法人、（研）は国立研究開発法人、（独）は独立行政法人を示す。

3 管内概要

佐久地域は、千曲川の最上流に位置し、浅間山、八ヶ岳などの豊かな自然に恵まれた、我が国有数の高原リゾートエリアであるとともに、冷涼な気候を生かした県内屈指の高原野菜の産地であり、伐採期を迎えた良好なカラマツが多く、また、利便性の高い物流網を生かした多様な企業が立地しています。

北陸新幹線は、平成27年3月に長野～金沢間が、令和6年3月に敦賀までが開業し、今後、新大阪までの延伸が計画されています。また、中部横断自動車道は、平成23年3月に佐久小諸JCT～佐久南IC間、平成30年4月に八千穂高原ICまでが開通し、今後、山梨県の長坂JCT（仮称）までの延伸が計画されているなど、高速交通網の充実により、内陸の長野県と首都圏、日本海及び太平洋の臨海部との物流確保や広域観光圏の開発等、沿線地域の産業経済の振興に寄与することが期待されています。

管内市町村は、平成17年4月の「新佐久市」誕生が最後の合併となっており、現在は、小諸市と佐久市、南佐久郡6町村、北佐久郡3町の計11市町村となっています。

管内は、総面積1,571.17k㎡と県総面積の11.6%を占め、群馬県、埼玉県及び山梨県と県境を接し、甲武信ヶ岳を源とする千曲川が中央を南北に貫流し、上流から南部高原地帯、中央平坦部、浅間山麓高原地帯及び西部の蓼科山麓高原地帯に分けることができます。

川上村・南牧村などの南部高原地帯は、高冷という立地条件を活かし、高原野菜、畜産物等の生産が盛んなことから、消費者ニーズに応えられる高品質な農産物の総合供給基地の形成をめざしています。

小諸市・佐久市を中心とする中央平坦部から浅間山麓高原地帯にかけては、農業、商業及び製造業が混在する地帯であり、商業では、北陸新幹線佐久平駅周辺や、幹線道路沿線に大型店や飲食店が進出し新たな商業エリアを形成しており、製造業では、自動車部品、産業用機械部品、電子部品、プラスチック成形品等の多種多様な製品を製造する企業が立地しています。

軽井沢高原や蓼科山麓高原地帯では、地域の恵まれた自然や旧跡を活かしながら、環境に配慮した国際的観光・リゾート地の形成をめざしています。

4 管内図

佐久地域の特性

- ・晴天率が高く、熱帯夜がない冷涼な気候の高原地域であり、国内有数の活火山である浅間山が存在します。
- ・佐久地域北部は、新幹線・高速道路が整備され首都圏から良好なアクセス環境です。さらに、中部横断自動車道が山梨県に向けて南佐久郡内まで延伸しています。
- ・戦後まもなく始まった農村医療活動等の伝統が根付き、医療関係者や市町村等による保健活動が活発です。また、地域の医療体制が充実しています。
- ・冷涼な気候を活かした県内屈指の高原野菜の産地であり、伐採期を迎えた優良なカラマツが豊富に存在します。また、利便性の高い物流網を活かした多様な企業が立地しています。
- ・軽井沢、立科等の観光地に加え、日本三選星名所*に選ばれた野辺山等、各地で星空を楽しむことができます。
- ・近年、特徴的な教育を行う教育機関が各地で設立されており、教育を目的に移住される方が増えています。

【管内の概況】



○日本酒
個性豊かな13の酒蔵が存在
小諸市・佐久市・佐久穂町

○りんご、米、肉用牛の
産地 立科町

○宇宙航空研究開発機構(JAXA)
美笹深宇宙探査用地上局、臼田宇宙空間観
測所 佐久市

○白樺湖、蓼科山、女神湖
立科町

○白駒の池、苔の森
小海町・佐久穂町

○ハケ岳山麓 佐久市・小海町・佐久穂町・
南牧村・立科町

○国立天文台野辺山宇宙電波観測所
日本三選星名所*の1つ 南牧村

○レタス、ハクサイ等を主体とした全国屈指の
野菜の産地、乳用牛の飼育 川上村・南牧村

○ウイスキー蒸留所
小諸市・軽井沢町

○ワイン、クラフトビールの産地
小諸市・佐久市・軽井沢町・御代田町・立科町

○中山道、北国街道が通過
小諸市・佐久市・軽井沢町・御代田町・立科町

○浅間山(群馬県等と連携した防災強化)

○国際的な観光地、国際会議の開催地
軽井沢町

○レタス、キャベツ等の産地
小諸市・佐久市・軽井沢町・御代田町

○ブルーベリー、りんご、米の産地
佐久市・佐久穂町

○信州サーモン、信州大王イワナ、佐久鯉、
フナの養殖 佐久市・佐久穂町

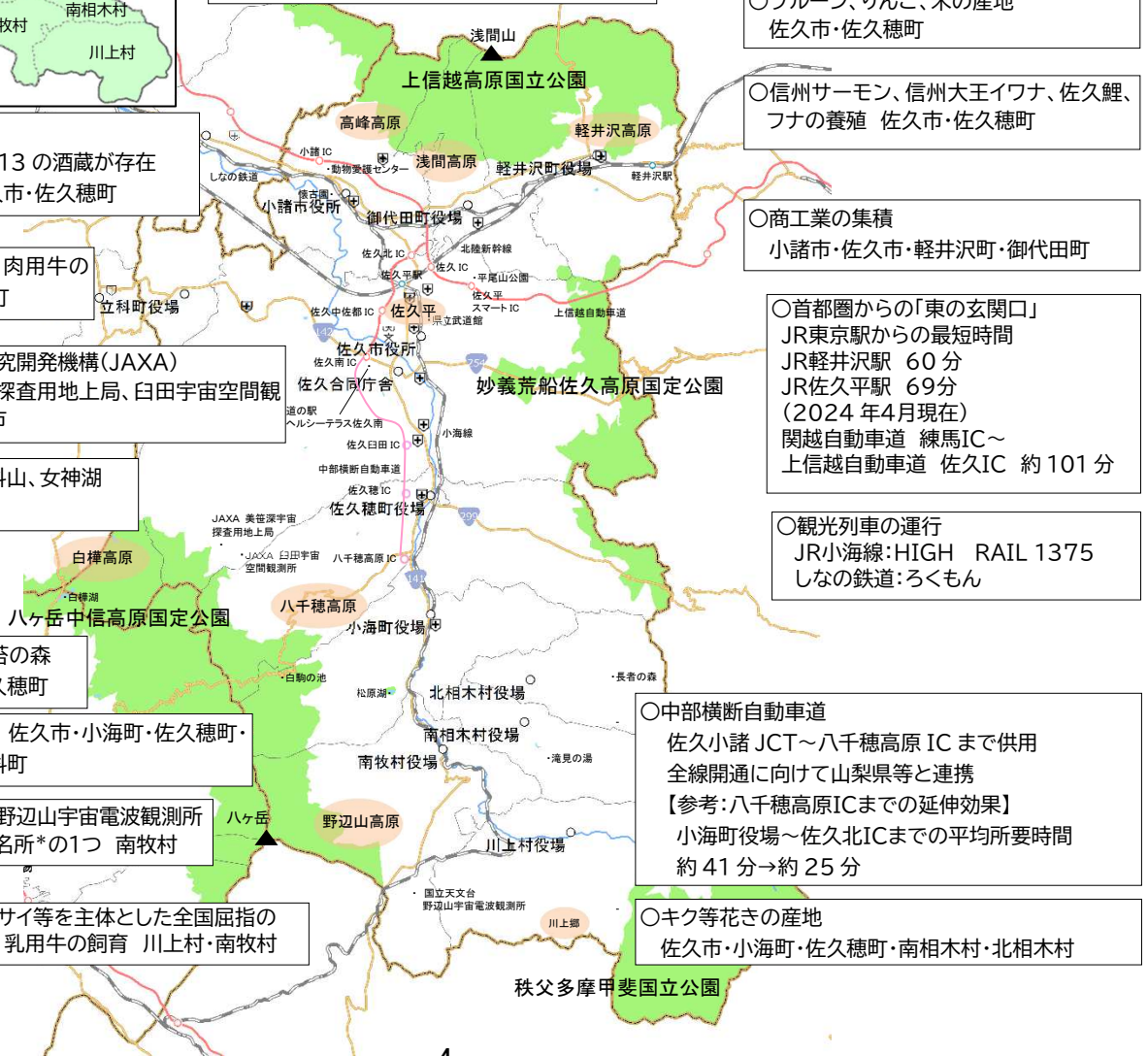
○商工業の集積
小諸市・佐久市・軽井沢町・御代田町

○首都圏からの「東の玄関口」
JR東京駅からの最短時間
JR軽井沢駅 60分
JR佐久平駅 69分
(2024年4月現在)
関越自動車道 練馬IC~
上信越自動車道 佐久IC 約101分

○観光列車の運行
JR小海線:HIGH RAIL 1375
しなの鉄道:ろくもん

○中部横断自動車道
佐久小諸JCT~八千穂高原ICまで供用
全線開通に向けて山梨県等と連携
【参考:八千穂高原ICまでの延伸効果】
小海町役場~佐久北ICまでの平均所要時間
約41分→約25分

○キク等花きの産地
佐久市・小海町・佐久穂町・南相木村・北相木村



5 統計で見る佐久地域の姿

(1) 面積

(令和6年1月1日現在)

順位	地域	面積(km ²)	構成比(%)
1	南信州	1,928.91	14.2
2	松本	1,868.73	13.8
3	佐久	1,571.17	11.6
4	長野	1,558.00	11.5
5	木曾	1,546.17	11.4
6	上伊那	1,348.40	9.9
7	北アルプス	1,109.65	8.2
8	北信	1,009.45	7.4
9	上田	905.37	6.7
10	諏訪	715.75	5.3
計		13,561.56	100.0

出典：全国都道府県市区町村別面積調（国土地理院）
 (注)集計処理により、合計値と内訳は一致しません。

(3) 人口

(令和6年4月1日現在)

順位	地域	男	女	計	構成比(%)
1	長野	252,053	265,246	517,299	26.0
2	松本	204,104	211,953	416,057	20.9
3	佐久	99,431	102,568	201,999	10.1
4	上田	92,612	96,117	188,729	9.5
5	諏訪	92,230	95,312	187,542	9.4
6	上伊那	85,854	88,888	174,742	8.8
7	南信州	71,914	76,330	148,244	7.4
8	北信	38,059	40,178	78,237	3.9
9	北アルプス	26,435	27,681	54,116	2.7
10	木曾	11,387	12,056	23,443	1.2
計(市町村別人口計)		974,079	1,016,329	1,990,408	100.0

出典：毎月人口異動調査（企画振興部総合政策課統計室）

(4) 農産物産出額

(令和3年)

順位	地域	産出額(億円)	構成比(%)
1	佐久	556	19.7
2	松本	532	18.9
3	長野	471	16.7
4	北信	396	14.1
5	南信州	235	8.3
6	上伊那	207	7.3
7	上田	169	6.0
8	諏訪	144	5.1
9	北アルプス	88	3.1
10	木曾	19	0.7
計		2,817	100.0

出展：県農政部推定
 (注)集計処理により、合計値と内訳は一致しません。

※構成比は端数処理の都合上、合計が100%にならない場合があります。

(2) 市町村数

(令和6年4月1日現在)

順位	地域	市	町	村	計	構成比(%)
1	南信州	1	3	10	14	18.2
2	佐久	2	5	4	11	14.3
3	長野	3	4	2	9	11.7
4	上伊那	2	3	3	8	10.4
	松本	3	0	5	8	10.4
6	諏訪	3	2	1	6	7.8
	木曾	0	3	3	6	7.8
	北信	2	1	3	6	7.8
9	北アルプス	1	1	3	5	6.5
10	上田	2	1	1	4	5.2
計		19	23	35	77	100.0

※1：県計は県内市町村の移動を考慮せず、国・都道府県間の移動のみを加算して算出しております。

※2：市町村別人口は県内市町村間の移動も加減して算出しているため、県と市町村別の人口の合計は一定時点でみた場合必ずしも一致しません。

【参考値】県計：1,991,977人

(5) 農業経営耕地面積

(令和2年)

順位	地域	面積(ha)	構成比(%)
1	松本	13,933	21.0
2	佐久	10,961	16.7
3	長野	8,562	13.9
4	上伊那	7,829	12.8
5	北信	4,811	7.7
6	上田	4,774	7.3
7	北アルプス	4,286	6.8
8	南信州	3,765	6.7
9	諏訪	3,596	5.7
10	木曾	827	1.5
計		63,345	100.0

出典：2020年農林業センサス
 (注)集計処理により、合計値と内訳は一致しません。

(6) 木材生産量

(令和4年)

順位	地域	生産量(千m ³)	構成比(%)
1	佐久	121.8	21.6
2	木曾	81.8	14.5
3	上田	71.3	12.6
4	長野	60.9	10.8
5	松本	56.6	10.0
6	上伊那	51.6	9.2
7	諏訪	39.5	7.0
8	南信州	35.6	6.3
9	北信	26.9	4.8
10	北アルプス	17.8	3.2
計		563.8	100.0

出典：令和5年度長野県木材統計(長野県林務部)

(参考)

佐久地域の民有林の樹種構成

・カラマツ	55%
・広葉樹(ナラを除く)	28%
・アカマツ	7%
・ナラ	3%
・ヒノキ	1%
・その他	3%

(7) 製造品出荷額等

(令和3年)

順位	地域	製造品出荷額(億円)	構成比(%)
1	松本	17,711	26.6
2	長野	12,942	19.5
3	上伊那	8,962	13.5
4	佐久	6,628	10.0
5	上田	6,306	9.5
6	諏訪	6,173	9.3
7	南信州	3,489	5.2
8	北信	2,365	3.6
9	北アルプス	1,254	1.9
10	木曾	633	1.0
計		66,462	100.0

出典：2022年経済構造実態調査

(8) 商品販売額

(令和3年)

順位	地域	商品販売額(億円)	構成比(%)
1	長野	18,240	33.8
2	松本	14,499	26.9
3	上田	4,681	8.7
4	諏訪	4,284	7.9
5	佐久	3,967	7.4
6	上伊那	3,059	5.7
7	南信州	2,996	5.6
8	北信	1,368	2.5
9	北アルプス	647	1.2
10	木曾	216	0.4
計		53,957	100.0

出典：経済センサス

(9) 大規模小売店舗面積の占有状況

(令和6年3月末現在)

順位	地域	小売業売場面積(m ²)	大型店		占有率(%)
			店舗数	店舗面積(m ²)	
1	松本	610,713	111	540,004	88.4
2	佐久	319,477	66	280,403	87.8
3	上田	279,552	57	240,876	86.2
4	長野	600,559	150	491,726	81.9
5	諏訪	245,902	51	192,832	78.4
6	北アルプス	66,123	13	51,777	78.3
7	北信	145,055	28	104,019	71.7
8	南信州	177,366	38	124,612	70.3
9	上伊那	257,139	50	173,447	67.5
10	木曾	20,158	4	7,562	37.5
計		2,722,044	568	2,207,258	81.1

出典1 小売業売場面積 令和3年経済センサス結果の売場面積に大型店の届出店舗面積の増減を加除

出典2 大型店 大規模小売店舗立地法の対象店舗(店舗面積1,000m²超)

(10) 観光地利用者数

ア 延利用者数 (令和4年)

順位	地域	万人	構成比(%)	備考
1	長野	1,606.2	21.3	R3 2位
2	佐久	1,312.6	17.4	R3 1位
3	諏訪	1,173.7	15.6	
4	松本	882.1	11.7	
5	上田	580.7	7.7	
6	北アルプス	537.8	7.1	
7	北信	505.9	6.7	
8	南信州	389.7	5.2	
9	上伊那	354.3	4.7	
10	木曽	201.7	2.7	
計		7,544.7	100.0	

出典:観光地利用者統計調査

イ 観光消費額 (令和4年)

順位	地域	億円	構成比(%)	備考
1	長野	733.0	25.9	R3 2位
2	佐久	519.6	18.4	R3 1位
3	諏訪	325.8	11.5	
4	松本	291.1	10.3	
5	北アルプス	289.1	10.2	
6	北信	275.5	9.8	
7	上田	119.0	4.2	
8	南信州	98.2	3.5	
9	木曽	87.4	3.1	
10	上伊那	86.6	3.1	
計		2,825.2	100.0	

出典:観光地利用者統計調査

(11) 日常生活圏

常住地	商 圏																	
	小諸市	佐久市				小海町	佐久穂町		川上村	南牧村	南相木村	北相木村	軽井沢町	御代田町	立科町	上田市	東御市	県外
		旧佐久市	旧白田町	旧望月町	旧浅科村		旧佐久町	旧八千穂村										
小諸市	39.8	47.6	0.1	0.1		0.3						1.3	0.1		1.6	0.4	1.6	
佐久市 (旧佐久市)	2.3	84.1	1.3									1.0		0.2	0.4		1.8	
(旧白田町)	0.6	57.6	26.8									0.8			0.2		5.2	
(旧望月町)	0.8	75.1		6.6	0.3							0.6		8.9	1.4		0.3	
(旧浅科村)	7.4	76.5		5.3								2.5		0.3	0.3		3.4	
小海町	0.4	48.4	11.7			11.2	9.9	0.4							0.9		2.2	
佐久穂町 (旧佐久町)	1.2	57.8	8.9				18.5	0.2				0.7			0.7			
(旧八千穂村)		66.3	5.3				25.3	1.1										
川上村	0.2	44.1	0.7				0.7		10.6	0.2							32.5	
南牧村	0.3	46.4	6.0	0.8		1.4	3.3	0.5	1.6	0.3							20.9	
南相木村	1.8	52.6	19.3			5.3	15.8											
北相木村	2.0	66.0				18.0	4.0											
軽井沢町	1.9	44.6										33.8	2.5		0.4	0.1	3.1	
御代田町	6.5	60.7										0.8	21.2	0.1	0.9		1.5	
立科町	0.3	48.7		0.6								0.6		26.5	12.7	0.3	1.5	

出典:令和3年度長野県商圏調査報告書(令和3年10月25日～令和3年12月6日) 資料6「市町村別買物状況」より
 見方:例えば小諸市の場合、市内常住者の39.8%が小諸市内の商店等で、47.6%が旧佐久市内の商店等で買物を行っている。

市町村合併の状況は次の通りである。

※1 佐久市、白田町、望月町及び浅科村は平成17年4月1日に新設合併し「佐久市」が誕生した。

※2 佐久町及び八千穂村は平成17年3月20日に新設合併し「佐久穂町」が誕生した。